

岡田八千代 （おきたか） 小説家、劇作家、劇評家。明治十六年十一月二十日廣島縣生れ、昭和二十七年二月十日歿（八三—一九六）。筆名伊達虫、伊達虫子、八千代、小山内八千代、小山内八千代子、小山内井影、浦子、琴女史、井影女、井影女史等。陸軍軍醫小山内健の次女、小山内薫の實妹。明治二十五年雜誌『明星』に處女作發表、二十九年洋畫家岡田二郎助と結婚、四十四年『青鞥』賛助、大正十一年兒童劇團芽生会結成主宰、翌年長谷川時雨と『女人藝術』創刊。昭和二十二年日本女流劇作家協會創設。

著譯書 『新緑・上巻』（小山内八千代名、明治二十九年十一月二十日堺屋石野書店）、『黄橙』（明治四十一年十一月二十五日春陽堂）、『繪』

『具箱』（大正元年十一月二十五日粉山書店）、『青鞥小説集・第一』

（合著・青鞥社編、大正二年二月二十五日東京堂）、『萬龍未來記』

（合著・野元北馬編、大正五年十一月一日須原啓興社）、『八千代集』

（大正六年一月十五日須原啓興社）、『きこぬいと』（合著・上田深治

編、昭和十四年一月二十日京都・キタの編輯部）、『若き日の小山内

薫』（昭和十五年七月九日古今書院『明治香叢書』）、『セギユ一』作

『新仙女』、『物語生命の樹』（譯、昭和十七年十一月十日時代社）、『白蘭』

（昭和十八年四月十八日大江社）、『白

本女流文學評論・近世編』（中世・近世

篇）』（合著・今井邦子編、昭和二十

二年八月十日長野・明治香書房）、『隨

筆春秋』（合著・日本放送協会編、昭

和二十一年八月二十五日東西文閣社）



